



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日産化学工業株式会社

コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務部副部長 (氏名) 吉田洋憲

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3296-8356

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	69,829	△3.1	6,568	△21.3	6,515	△16.9	4,401	△21.4
23年3月期第2四半期	72,058	7.8	8,342	7.1	7,836	1.1	5,602	3.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 4,001百万円 (△7.3%) 23年3月期第2四半期 4,314百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	25.88	—
23年3月期第2四半期	32.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	172,785	114,209	65.6	665.91
23年3月期	183,399	112,361	60.7	654.33

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 113,280百万円 23年3月期 111,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	1.2	18,500	△6.6	18,500	△4.5	12,700	△2.0	74.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	171,000,000 株	23年3月期	171,000,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	885,512 株	23年3月期	885,312 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	170,114,563 株	23年3月期2Q	170,772,153 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業務は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成23年10月31日(月)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における国内景気は、東日本大震災により減退した企業の生産活動がサプライチェーンの復旧とともに改善し、持ち直しの動きがみられました。しかし、欧米経済の減速、円高の定着など輸出環境は依然として厳しく、本格的な回復には至りませんでした。

このような情勢のもと、化学品部門は、震災の影響を受けた製品もありましたが、全体としては前年並みで推移しました。機能性材料部門は、テレビ用液晶パネル向け需要の減少、半導体市場の競争激化を背景に、大幅な減収を余儀なくされました。一方、農業化学品部門では製品の流通段階での在庫調整が進んだこと、また、医薬品部門では開発品のライセンス一時金を獲得したことから、いずれも増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高698億29百万円（前年同期比22億29百万円減）、営業利益65億68百万円（同17億73百万円減）、四半期純利益44億1百万円（同12億0百万円減）となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、セグメント変更後の数値によっております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表等（5）セグメント情報等 II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

化学品部門

基礎化学品は、震災の影響もありメラミンの国内需要が大幅に減少しましたが、アンモニア、尿素、硝酸、硫酸などの販売は堅調に推移し、増収となりました。ファインケミカルは、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）が円高の影響を受けたことなどから、減収となりました。この結果、当部門の売上高は185億87百万円（前年同期比47百万円増）、営業利益は7億90百万円（同1億85百万円増）となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）は、スマートフォンおよびタブレットPC用液晶パネル向けの需要が増加しましたが、テレビ用液晶パネルは主要ユーザーの稼働率が低下し、減収となりました。また、BARC（半導体用反射防止コーティング材）は、半導体市場の成長が減速するなか、販売が落ち込み、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）は、とくに研磨剤向けの出荷が減少しました。この結果、当部門の売上高は、170億18百万円（前年同期比26億32百万円減）、営業利益は25億51百万円（同23億47百万円減）となりました。

農業化学品部門

「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）は、流通在庫の調整が進み、売上は前年を上回りました。また、「ライメイ」（畑作・園芸用殺菌剤）の新たな使用分野開拓に取り組み、土壌処理用の販売が増加しました。この結果、今期は動物薬の一時金収入はありませんでしたが、当部門の売上高は124億64百万円（前年同期比4億59百万円増）、営業利益は8億18百万円（同67百万円増）となりました。

医薬品部門

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）は、国内での順調なシェア拡大と、本年5月の欧州での上市により原薬の販売が増加しました。また、開発中の新薬に関するライセンス一時金を獲得しました。この結果、当部門の売上高は52億11百万円（前年同期比4億35百万円増）、営業利益は26億18百万円（同5億8百万円増）となりました。

卸売部門

新規ユーザーの獲得などにより全般的に販売が伸長し、当部門の売上高は225億32百万円（前年同期比13億0百万円増）、営業利益は6億95百万円（同7百万円減）となりました。

その他の部門

エンジニアリング事業などの減収により、当部門の売上高は93億46百万円（前年同期比17億47百万円減）、営業利益は8百万円（同1億22百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比106億13百万円減の1,727億85百万円となりました。

負債合計も買入債務、有利子負債残高、未払法人税等が減少したことなどから、前連結会計年度末比124億61百万円減少し、585億76百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比18億47百万円増の1,142億9百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比4.9ポイント増加し、65.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、204億14百万円の収入（前年同期は217億57百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、化学品部門などの設備投資を中心に62億97百万円の支出（前年同期は28億53百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払、借入金の返済などにより96億2百万円の支出（前年同期は182億69百万円の支出）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額4億14百万円を差し引き、前連結会計年度末に比較して40億99百万円増加し、252億26百万円（前年同期は150億54百万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内外において景気が下振れするリスクが懸念されているなか、とくに電子材料関連市場において、液晶パネル、半導体の需要がそれぞれ前回発表時の予想を下回る水準で推移しており、「サンエバー」、「BARC」など当社主要製品に影響が出てきております。

従い、平成24年3月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしました。なお、ナフサ市況については52,000円/k1、為替については1米ドル80円を前提としています。

平成24年3月期 通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	156,000	20,300	20,700	14,800	87.00
今回修正予想 (B)	156,000	18,500	18,500	12,700	74.66
増減額 (B-A)	0	△1,800	△2,200	△2,100	—
増減率 (%)	0.0%	△8.9%	△10.6%	△14.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	154,209	19,817	19,369	12,953	75.94

2. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,126	25,226
受取手形及び売掛金	55,220	40,194
商品及び製品	23,118	24,408
仕掛品	96	514
原材料及び貯蔵品	5,219	4,756
その他	5,742	5,015
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	110,512	100,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,984	19,055
その他(純額)	27,418	26,781
有形固定資産合計	46,403	45,837
無形固定資産		
のれん	2,366	2,052
その他	1,017	1,016
無形固定資産合計	3,383	3,068
投資その他の資産		
投資有価証券	20,321	21,371
その他	2,992	2,616
貸倒引当金	△214	△213
投資その他の資産合計	23,099	23,773
固定資産合計	72,886	72,679
資産合計	183,399	172,785
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,443	12,679
短期借入金	25,382	20,897
未払法人税等	3,242	1,916
賞与引当金	1,724	1,723
役員賞与引当金	30	14
その他	8,060	7,302
流動負債合計	53,884	44,534
固定負債		
長期借入金	14,500	11,476
退職給付引当金	521	475
その他	2,130	2,090
固定負債合計	17,153	14,042
負債合計	71,037	58,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	79,615	81,976
自己株式	△1,072	△1,072
株主資本合計	111,096	113,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,438	1,491
為替換算調整勘定	△1,223	△1,667
その他の包括利益累計額合計	214	△176
少数株主持分	1,049	929
純資産合計	112,361	114,209
負債純資産合計	183,399	172,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	72,058	69,829
売上原価	46,580	46,084
売上総利益	25,477	23,744
販売費及び一般管理費	17,135	17,176
営業利益	8,342	6,568
営業外収益		
受取利息	25	10
受取配当金	315	318
物品売却益	—	249
持分法による投資利益	—	79
その他	942	252
営業外収益合計	1,283	911
営業外費用		
支払利息	279	232
固定資産処分損	164	—
為替差損	593	330
その他	751	400
営業外費用合計	1,789	963
経常利益	7,836	6,515
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	7,836	6,515
法人税、住民税及び事業税	2,122	1,832
法人税等調整額	91	240
法人税等合計	2,213	2,072
少数株主損益調整前四半期純利益	5,622	4,443
少数株主利益	20	41
四半期純利益	5,602	4,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,622	4,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△938	53
為替換算調整勘定	△370	△494
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△0
その他の包括利益合計	△1,308	△441
四半期包括利益	4,314	4,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,346	4,010
少数株主に係る四半期包括利益	△31	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,836	6,515
減価償却費	4,902	4,870
受取利息及び受取配当金	△341	△329
支払利息	279	232
固定資産処分損益(△は益)	164	119
売上債権の増減額(△は増加)	13,031	14,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	316	△1,378
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,099	△2,491
その他	1,291	1,023
小計	25,381	23,386
利息及び配当金の受取額	341	329
利息の支払額	△294	△234
法人税等の支払額	△3,670	△3,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,757	20,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△22	△891
投資有価証券の売却による収入	584	4
有形固定資産の取得による支出	△2,700	△4,929
有形固定資産の除却による支出	△101	△93
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△411	△166
その他	△201	△221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,853	△6,297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,597	△3,410
長期借入金の返済による支出	△4,365	△4,024
配当金の支払額	△2,412	△2,041
少数株主への配当金の支払額	△118	△121
自己株式の取得による支出	△2,773	△0
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,269	△9,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	△342	△414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	292	4,099
現金及び現金同等物の期首残高	14,762	21,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,054	25,226

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,289	16,856	11,411	4,734	17,913	6,852	72,058	—	72,058
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,250	2,794	593	42	3,318	4,241	15,240	△15,240	—
計	18,539	19,651	12,005	4,776	21,232	11,093	87,298	△15,240	72,058
セグメント利益 (営業利益)	605	4,898	751	2,110	702	131	9,199	△857	8,342

(注) 1. セグメント利益の調整額△857百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△805百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,549	14,544	11,743	5,190	18,932	4,868	69,829	-	69,829
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,037	2,474	721	21	3,599	4,477	15,331	△15,331	-
計	18,587	17,018	12,464	5,211	22,532	9,346	85,160	△15,331	69,829
セグメント利益 (営業利益)	790	2,551	818	2,618	695	8	7,482	△914	6,568

(注) 1. セグメント利益の調整額△914百万円には、セグメント間取引消去△106百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△807百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成23年6月28日付の組織改訂に伴い、第2四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。化学品事業セグメントに属していた無機材料を、機能性材料事業セグメントに編入し、さらに、電子材料事業セグメントを機能性材料事業セグメントと名称変更しております。

前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報」については、セグメント区分変更後の数値に置き換えて表示しております。

なお、変更後の各報告セグメントの主要製品は以下の通りです。

報告セグメント	主要製品・分野
化学品事業	基礎化学品（メラミン、硫酸、硝酸、アンモニア等） ファインケミカル（封止材用等特殊エポキシ、難燃剤、殺菌消毒剤等）
機能性材料事業	ディスプレイ材料（液晶表示用材料ポリイミド等） 半導体材料（半導体用反射防止コーティング材等） 無機コロイド（電子材料用研磨剤、各種材料用表面処理剤等）
農業化学品事業	農薬（除草剤、殺虫剤、殺菌剤、殺虫殺菌剤、植物成長調整剤）
医薬品事業	高コレステロール血症治療薬原薬、高血圧症・狭心症治療薬
卸売事業	卸売等
その他の事業	肥料（高度化成等）、造園緑化、環境調査、運送、 プラントエンジニアリング等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。